

新型コロナウイルス感染症

ワクチン接種の準備を進めています

健康増進センター 新型コロナウイルスワクチン接種推進グループ ☎049-252-3771
富士見市ワクチン接種コールセンター ☎049-252-0777・049-252-0888

新型コロナワクチンが開発され、各国で接種が始まり、日本でも順次接種していくこととなりました。ここではその概要などをお伝えします。詳しくは、決まり次第市ホームページなどでお伝えします(下記の情報は首相官邸・厚生労働省ホームページより抜粋 ※令和3年2月5日現在)。



接種回数と費用

間隔を開けて2回接種を予定(無料)

接種は強制ではありません

接種による感染症予防の効果と副反応のリスクを理解したうえで、自らの意志で接種を受けていただきます。受ける方の同意なく接種が行われることはありません。

接種の副反応

接種部位の痛み、頭痛・倦怠感・筋肉痛などの副反応のほか、まれに急性アレルギー反応の発生の報告があります。急性アレルギー反応が起きた場合は接種会場や医療機関で治療を受けられます。

副反応が起きた場合の補償

予防接種法に基づく救済があります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。



接種の効果

重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐことが明らかになっています。

接種対象、順位

- ①医療従事者など
- ②高齢者(令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)
- ③高齢者以外で基礎疾患のある方や高齢者施設などで従事している方
- ④上記①～③以外の方

接種会場

健康増進センター体育館
※市内医療機関など順次拡大予定

コールセンターの設置(3月1日)

ワクチン接種に関する相談や接種予約などを受け付けます。
☎049-252-0777・049-252-0888(月～日曜午前8時30分～午後5時)
※接種予約については、接種券の郵送後に受け付けます。

接種に関するスケジュール

【対象者】	2月	3月	4月
①医療従事者		接種開始	
②高齢者			接種券の郵送 → 接種
③基礎疾患のある方など			接種券の郵送 → 接種
④その他の方			接種券の郵送 → 接種

予約から接種まで

※接種を受けるには接種券と予約が必要です。接種券は対象者ごとに順次郵送します。詳しくは、決まり次第市ホームページなどでお伝えします。

3月中旬以降	4月以降
①接種券の受取り 市から接種券と予約票を自宅に郵送します。 ※名前と住所をご確認ください。	②予約(1回目) パソコンやスマートフォンなどによるWeb予約または電話などで予約します。 ※詳しくは、決まり次第お知らせします。
③接種(1回目) 健康増進センター体育館(接種会場は順次拡大予定) 必要なもの ・接種券 ・身分証明書(運転免許証、健康保険証など) ・予約票(事前に記入)	④予約(2回目) ②と同じ ※1回目の接種後に予約できます(予約可能日は1回目接種から21日経過後)。
⑤接種(2回目) ③と同じ	接種完了

医療スタッフの皆さん



Doctor Interview

イムス富士見総合病院
鈴木 義隆 院長



これまで当院ではワクチンを保存する冷凍庫を独自で導入したほか、医師・看護師・事務職員全体で組織する「感染対策委員会」を立ち上げ、1日に2回、これまで600回以上新型コロナウイルス感染症やワクチンなどについて議論を重ねてきました。当院に蓄積された知見や経験を集結させ、準備

を進めているところです。毎朝の委員会終了時には出席者全員で「今日も1日、安全に!!」と発声し、安全安心な医療体制構築への意識を高めています。現在、ワクチンに関する情報があふれ、接種に対する不安を感じている方も多いと思います。接種は強制ではありませんが、一つ言えるのは、接種するリスクより接種しないリスクの方が高いということです。ワクチンは、多くの人が接種を受けなければ十分な効

家族や友人を守るために



医療機関の現場から市民の皆さんへ

当院では医療従事者へのワクチン接種を予定しており、市内でも早く接種に携わることにあります。そのため、当院としても富士見医師会としても、市内の接種実施医療機関の先駆けである当院が万全の体制を整え、後に続く医療機関と連携していく必要があると認識しています。

を進めているところです。毎朝の委員会終了時には出席者全員で「今日も1日、安全に!!」と発声し、安全安心な医療体制構築への意識を高めています。現在、ワクチンに関する情報があふれ、接種に対する不安を感じている方も多いと思います。接種は強制ではありませんが、一つ言えるのは、接種するリスクより接種しないリスクの方が高いということです。ワクチンは、多くの人が接種を受けなければ十分な効

地域で連携してワクチン接種体制の構築を

果を発揮しません。自分だけでなく、家族や友人を守るという意味でも接種は大切です。海外でも接種が進み、日本でも一般の方々より先に我々医療従事者が接種を受けるため、皆さんが接種をするにはより詳しい情報が示されていることと思います。それらの情報を勘案し、皆さんがご納得いただけたうえで接種を受けていただければと思います。また、接種を受ければそれで終わりではなく、終息にはまだ時間を要します。接種後も継続してマスクの着用や3密の回避などの基本的な感染症対策を徹底し、自分と、そして大切な人を守る行動を心がけてください。最後に、当院によせられた地域の皆さんからの激励の言葉が当院スタッフの心の支えになっています。この場をお借りして御礼申し上げます。地域のために、ワクチン接種にも治療にも万全を期す所存ですので、安心して地域の医療機関をお頼りください。



イムス富士見総合病院に隣接した諏訪小学校の窓に貼られているメッセージ。イムス富士見総合病院への感謝の言葉が綴られている。

オール富士見のチカラで コロナ禍を乗り越えるために

緊急事態宣言延長に伴う対応

国の緊急事態宣言と県の緊急事態措置の延長により、以下の対応が3月7日(日)まで延長されます。

■不要不急の外出自粛(3月7日(日)まで)
特に午後8時以降の不要不急の外出は自粛してください。

■すべての飲食店に営業時間の短縮要請
要請期限/3月7日(日)
営業時間/午前5時～午後8時

■公共施設(屋内)の休館(3月7日(日)まで)
原則休館
すでに予約済みの場合は夜間を除き可

ワクチン接種に関することや公共施設の利用、市主催のイベントなどについては、変更となることがあります。随時市ホームページなどでお知らせします。



新しい生活様式や基本的な感染症対策の徹底を

■3密の回避①密集
人が多数集まる場所を避けましょう。

■3密の回避②密接
人と間近で会話や発声をする場面を避けましょう。

■3密の回避③密閉
換気の悪い密閉空間を避けましょう。

■正しいマスクの着用
家庭に高齢者や基礎疾患のある方がいる場合は、家の中でもマスクを着用しましょう。

■手洗い・手指消毒の実施
さまざまなものに触れることで、手にウイルスが付着する場合があります。

■会食・会合は少人数で
大人数での会食や会合は飛沫による感染の可能性が高まります。食事中も会話の際はマスクを着用しましょう。

発熱などで感染が心配な場合

発熱などの症状がある場合

- 県ホームページ「診療・検査医療機関」から連絡先や受付時間などを確認して予約
医師の判断で必要に応じて検査します。
- ホームページが見られない・近くの「診療・検査医療機関」がわからない
埼玉県受診・相談センターに電話(月～土曜9:00～17:30)
☎048-762-8026 FAX048-816-5801
- 一般的な相談・感染の不安
つながらないときや上記の時間以外は県民サポートセンター(24時間)へ
☎0570-783-770 FAX048-830-4808

組織体制を強化しました

市民や事業者の皆さんへの経済施策や福祉施策のさらなる充実やワクチン接種体制の整備を図るため、組織体制を強化しました。

- ①新型コロナウイルス感染症緊急生活支援対策室の増員
- ②健康増進センター内に新型コロナウイルスワクチン接種推進グループを新設



辞令交付に伴い行われた激励式

以上のほか、市役所の関係各課で役割分担を図るなど、全庁的に連携して適切な支援と円滑なワクチンの接種に努めていきます。



富士見市長
星野 光弘

市長のメッセージは動画でも見られます。



市民の皆様には、日ごろから新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策にご協力くださり、心から感謝申し上げます。

2月7日までとされていた緊急事態宣言は、埼玉県を含む10都府県を対象に3月7日まで1か月延長され、埼玉県でも緊急事態措置が延長されました。そのため、市では、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、公共施設(屋内)の利用について、新規の予約受付の停止、夜間の利用の停止などを引き続き3月7日まで延長することを決定しました。

国内の感染者数は、ピーク時に比べ減少してきてはいるものの、まだまだ多くの感染事例が確認され、県内では、英国で流行している変異した新型コロナウイルスの感染事例も確認されており、いまだ収束の兆しが見えない状況です。本市におきましても、1月のひと月だけで200人を超える感染者が確認されています。

市民の皆様におかれましては、午

後8時以降の不要不急の外出自粛のほか、マスクの着用、手洗い、3密の回避など基本的な感染拡大防止対策の徹底について改めてお願いいたします。

感染拡大を踏まえ、感染拡大防止と地域経済活動の両立を図るための支援に係る補正予算の編成を指示しており、全庁を挙げて検討をしています。

また、2月1日に新型コロナウイルス感染症緊急生活支援対策室の強化を図るとともに、健康増進センター内に新型コロナウイルスワクチン接種推進グループを設置しました。

ワクチン接種については、国が示しているスケジュールでは、①医療従事者など、②高齢者の方、③高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方、④一般の方の順に接種となり、高齢者の方の接種開始は4月以降となる予定です。会場については、健康増進センター体育館での準備を進めており、さらに市内医療機関にも協力を得るべく調整をしております。また、問合せに対応するため、

感染者への思いやりの気持ちを

3月1日にコールセンターを設置する予定です。多くの方が接種を受けていただくことが感染拡大を防止する効果を高めると考えておりますので、ワクチンの有効性や副反応などを正しくご理解いただけるよう、さまざまな情報を市ホームページなどで随時お知らせしてまいります。市民の皆様には、できるだけ早く、そして安心してワクチン接種を受けていただけるよう全庁を挙げて準備を進めておりますのでご理解をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があり、気を付けていても完全に防げるものではありません。一人ひとりが思いやりの気持ちを大切に、感染者を特定したり、非難することがないように、くれぐれもよろしくお願いたします。

自分を守ることが大切な人を守ることにつながり、大切な人もあなたの健康を願っています。引き続き感染拡大防止対策にご協力くださるようお願いいたします。

市民の皆様へ 緊急事態宣言の延長を受けて

令和3年2月5日

星野 光弘